

県内企業景況調査結果

[2021年7~9月期実績、2021年10~12月期見通し]

沖縄振興開発金融公庫 調査部発表

— 県内景況は、停滞が続いている —

調査結果のポイント

1. 業況判断 D.I.

実績 (7~9月期) : 「悪化」超幅が大幅に拡大し、8期連続のマイナス
〔前期△5.0%ポイント (以下、単位省略) ⇒ 当期△26.6〕

- ・新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う緊急事態宣言の長期化の影響で、観光関連産業を中心に厳しい状況が続いた

見通し (10~12月期) : 来期は「悪化」超幅が縮小の見通し (来期△19.9)

- ・ワクチン接種の進展による経済の活性化を期待するも、依然として先行きは不透明

2. 景況天気

実績 : 「☁️ (薄曇り)」 → 「☁️ (曇り)」 (前期△1.8 ⇒ 当期△16.2)

建設業、小売業、運輸業で 「☁️ (薄曇り)」 → 「☁️ (曇り)」

飲食店・宿泊業で 「☁️ (曇り)」 → 「☔️ (雨)」

卸売業、情報通信業、サービス業で引き続き 「☁️ (薄曇り)」

製造業で引き続き 「☁️ (曇り)」

見通し : 引き続き 「☁️ (曇り)」 となる見通し (来期△16.4)

建設業で 「☁️ (曇り)」 → 「☁️ (薄曇り)」

サービス業で 「☁️ (薄曇り)」 → 「☁️ (曇り)」

卸売業、情報通信業で引き続き 「☁️ (薄曇り)」

製造業、小売業、運輸業で引き続き 「☁️ (曇り)」

飲食店・宿泊業で引き続き 「☔️ (雨)」

3. 売上 D.I.

実績 : 「増加」超から「減少」超に転じる (同1.5 ⇒ 同△28.7)

見通し : 「減少」超幅が横這いの見通し (同△28.7)

4. 採算水準 D.I.

実績 : 「赤字」超幅が拡大 (同△2.1 ⇒ 同△7.3)

見通し : 「赤字」超幅がやや縮小の見通し (同△3.9)

5. 資金繰り D.I.

実績 : 「苦しい」超幅が拡大 (同△4.7 ⇒ 同△12.7)

見通し : 「苦しい」超幅がやや拡大の見通し (同△16.6)

※本調査の回答期間は令和3年8月25日~令和3年9月10日となっており、令和3年9月末日における緊急事態宣言の全面解除等、新型コロナウイルス感染症に関連する最新の動向が十分に反映されていないことにご留意ください。

沖縄振興開発金融公庫 調査部

[調査内容についてのお問い合わせ先]

調査部 金融経済調査課 (担当: 儀間)

沖縄県那覇市おもろまち1-2-26

電話: 098-941-1725 FAX: 098-941-1920

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
		(A)	(B)	(B)/(A)×100
全産業		379	331	87.3
製造業		67	58	86.6
建設業		69	64	92.8
卸売業		47	41	87.2
小売業		50	42	84.0
運輸業		36	34	94.4
情報通信業		23	21	91.3
サービス業		47	42	89.4
飲食店・宿泊業		37	27	73.0

※全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し、自計記入を求める方法による。

5. 調査対象期間

当期 … 2021年7～9月期実績 来期 … 2021年10～12月期見通し

6. 調査実施期間

2021年8月下旬～2021年9月下旬

(発送：2021年8月25日、回収基準日：2021年9月10日)

※本調査の回答期間は令和3年8月25日～令和3年9月10日となっており、令和3年9月末日における緊急事態宣言の全面解除等、新型コロナウイルス感染症に関連する最新の動向が十分に反映されていないことにご留意ください。

7. 用語説明等

- (1) 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- (2) D. I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- (3) 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD. I. を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

II. 調査結果

1. 業況判断

— 当期は「悪化」超幅が大幅に拡大し、8期連続のマイナス
来期は「悪化」超幅が縮小の見通し —

(1) [2021年7~9月期実績]

自社の業況を総合的に判断する業況判断D. I. は、△26.6%ポイント(以下、単位省略)となり、「悪化」超幅が大幅に拡大し、8期連続のマイナスとなった。

業種別にみると、情報通信業は「好転」超幅がほぼ横這いとなったものの、小売業、運輸業、サービス業、飲食店・宿泊業で「好転」超から「悪化」超に転じ、建設業、卸売業で「悪化」超幅が大幅に拡大、製造業で「悪化」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2021年10~12月期見通し]

来期の業況判断D. I. は△19.9と、「悪化」超幅が縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、サービス業で「悪化」超幅が拡大、情報通信業で「好転」超幅が横這いとなるものの、製造業、小売業、飲食店・宿泊業で「悪化」超幅が大幅に縮小、建設業で「悪化」超幅が縮小、卸売業、運輸業で「悪化」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

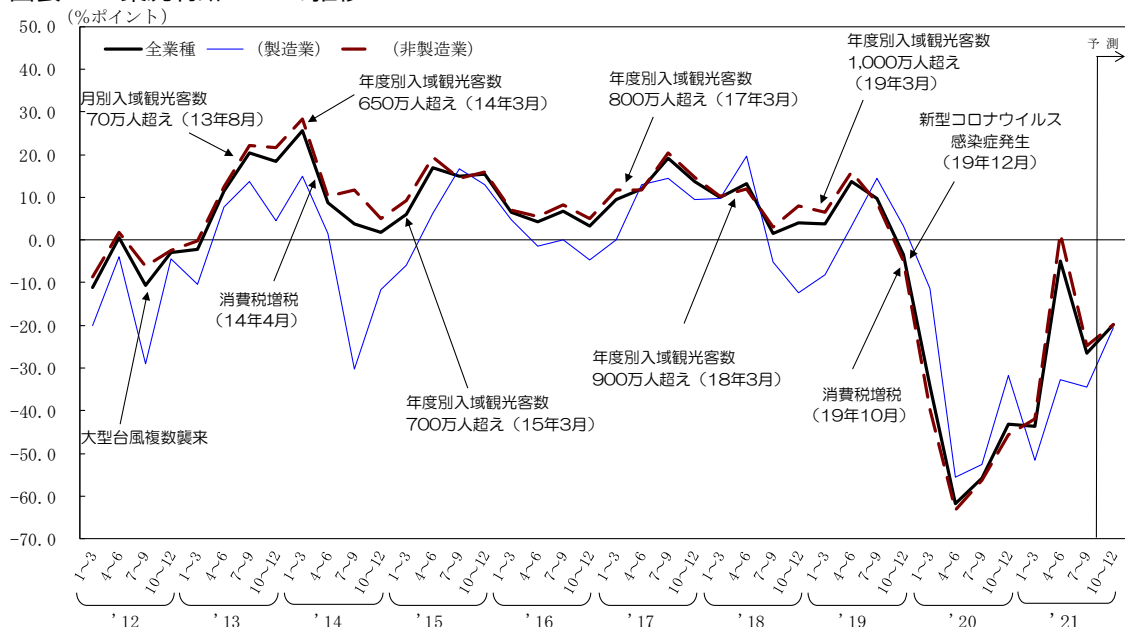
図表1-1. 業況判断D.I.

参考: 業況判断D. I. (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2020年			2021年				
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期		7~9月期	
		実績	実績	実績		実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全産業	D. I. (①-②)	△ 61.9	△ 55.7	△ 43.1	△ 43.7	△ 5.0	(△10.1)	△ 26.6	△ 19.9
	① 好転(%)	5.7	6.4	10.6	10.9	25.7	(16.6)	15.1	13.3
	不変(%)	26.7	31.5	35.7	34.6	43.5	(56.8)	43.2	53.5
	② 悪化(%)	67.6	62.1	53.7	54.5	30.8	(26.6)	41.7	33.2
製造業		△ 55.6	△ 52.5	△ 31.7	△ 51.7	△ 32.8	(△15.6)	△ 34.5	△ 20.7
建設業		△ 23.4	△ 23.0	△ 20.0	△ 15.2	△ 10.8	(△12.3)	△ 25.0	△ 15.6
卸売業		△ 68.4	△ 62.2	△ 43.6	△ 35.9	△ 7.7	(△25.6)	△ 29.3	△ 24.4
小売業		△ 65.0	△ 52.4	△ 44.7	△ 35.6	4.5	(△11.4)	△ 40.5	△ 26.2
運輸業		△ 85.3	△ 82.4	△ 77.1	△ 70.6	20.0	(2.9)	△ 26.5	△ 23.5
情報通信業		△ 85.0	△ 60.0	△ 36.8	△ 27.3	11.1	(△16.7)	9.5	9.5
サービス業		△ 76.6	△ 66.7	△ 55.6	△ 53.3	2.4	(11.9)	△ 7.1	△ 16.7
飲食店・宿泊業		△ 91.7	△ 88.0	△ 66.7	△ 85.7	7.1	(△14.3)	△ 48.1	△ 37.0

図表1-2. 業況判断D. I. の推移



2. 景況天気

— 当期は「曇り」、来期も「曇り」の見通し —

(1) [2021年7～9月期実績]

当期の県内企業の動向を全産業ベースでみると、売上D. I. (1.5→△28.7)で「増加」超から「減少」超に転じ、資金繰りD. I. (△4.7→△12.7)で「苦しい」超幅が拡大、採算水準D. I. (△2.1→△7.3)で「赤字」超幅が拡大となったことから、景況天気(△1.8→△16.2)は「曇り」となった。

業種別にみると、建設業、小売業、運輸業で「薄曇り」から「曇り」、飲食店・宿泊業で「曇り」から「雨」、卸売業、情報通信業、サービス業で引き続き「薄曇り」、製造業で引き続き「曇り」となった。

(2) [2021年10～12月期見通し]

来期の見通しは、採算水準D. I. (△3.9)で「赤字」超幅がやや縮小、売上D. I. (△28.7)で「減少」超幅が横這い、資金繰りD. I. (△16.6)で「苦しい」超幅がやや拡大となることから、景況天気(△16.4)は「曇り」の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業で「曇り」から「薄曇り」となっているものの、サービス業で「薄曇り」から「曇り」、卸売業、情報通信業で引き続き「薄曇り」、製造業、小売業、運輸業で引き続き「曇り」、飲食店・宿泊業で引き続き「雨」の見通しとなっている。

図表2-1. 景況天気図

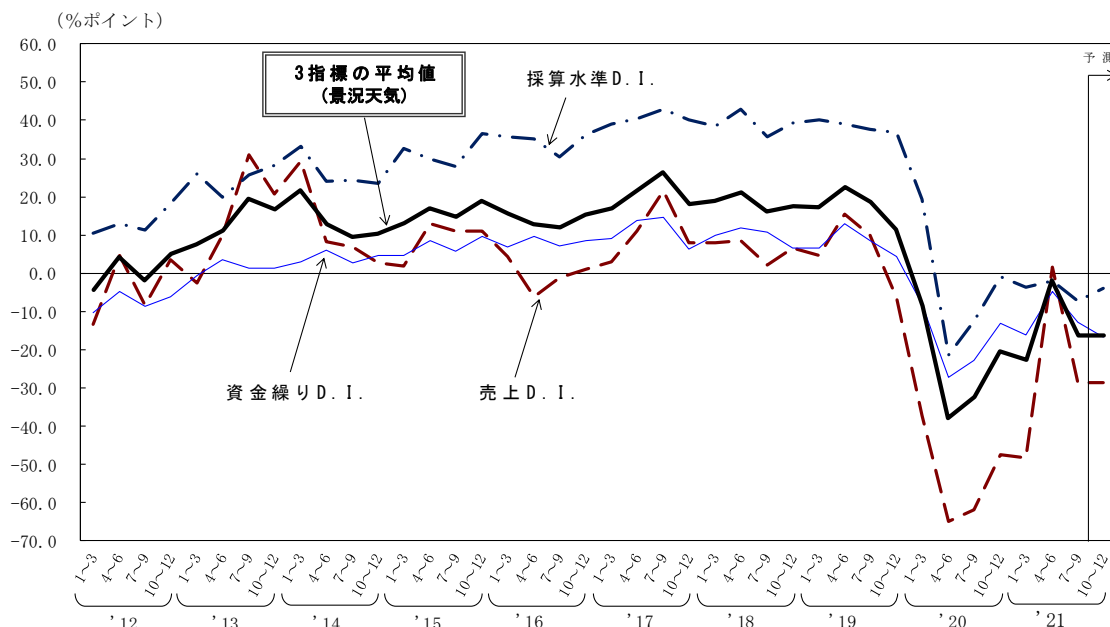
参考: 景況天気 (売上、採算水準、資金繰りD. I. の平均値)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2020年			2021年				
		4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 前回実績	7～9月期 前回見通し	今回実績	10～12月期 今回見通し
全産業		☔ △37.8	☔ △32.4	☔ △20.5	☔ △22.8	☔ △1.8	☔ (△5.7)	☔ △16.2	☔ △16.4
製造業		☔ △27.5	☔ △28.4	☔ △10.6	☔ △20.0	☔ △13.0	☔ (△4.7)	☔ △25.9	☔ △19.0
建設業		☁ △3.6	☁ △6.0	☁ △2.6	☁ 2.0	☁ △3.6	☁ (△3.1)	☁ △6.8	☁ △4.2
卸売業		☔ △40.4	☔ △20.7	☔ △8.5	☔ △11.1	☔ 4.3	☔ (△3.4)	☔ △4.1	☔ △2.4
小売業		☔ △45.8	☔ △34.1	☔ △22.0	☔ △15.6	☔ 0.0	☔ (△12.1)	☔ △24.6	☔ △21.4
運輸業		☔ △54.9	☔ △50.0	☔ △49.5	☔ △52.0	☔ 5.7	☔ (△2.9)	☔ △18.6	☔ △23.5
情報通信業		☔ △53.3	☔ △36.7	☔ △5.3	☔ △1.5	☔ 9.3	☔ (△1.9)	☔ △3.2	☔ △4.8
サービス業		☔ △47.5	☔ △40.0	☔ △31.9	☔ △34.8	☔ 7.9	☔ (2.4)	☔ △4.0	☔ △16.7
飲食店・宿泊業		☔ △86.1	☔ △82.7	☔ △62.5	☔ △81.0	☔ △16.7	☔ (△28.6)	☔ △53.1	☔ △56.8

☔ 快晴 — 30以上～100以下 ☔ 晴 — 10以上～30未満 ☁ 薄曇り — △5以上～10未満
 ☔ 曇り — △30以上～△5未満 ☔ 雨 — △100以上～△30未満

図表2-2. 売上、採算水準、資金繰りD. I. の推移 (全業種)



3. 売上

— 当期は「増加」超から「減少」超に転じ、
来期は「減少」超幅が横這いの見通し —

(1) [2021年7～9月期実績]

当期の売上D.I.は△28.7と、「増加」超から「減少」超に転じた。

業種別にみると、建設業で「減少」超幅がやや縮小となったものの、小売業、運輸業、情報通信業、サービス業、飲食店・宿泊業で「増加」超から「減少」超に転じ、製造業、卸売業で「減少」超幅が大幅に拡大となった。

(2) [2021年10～12月期見通し]

来期の売上D.I.は△28.7と、「減少」超幅が横這いの見通しとなっている。

業種別にみると、製造業、卸売業で「減少」超幅が大幅に縮小、小売業で「減少」超幅が縮小となっているものの、サービス業で「減少」超幅が大幅に拡大、運輸業で「減少」超幅が拡大、情報通信業、飲食店・宿泊業で「減少」超幅がやや拡大、建設業で「減少」超幅が横這いの見通しとなっている。

図表3-1. 売上D.I.

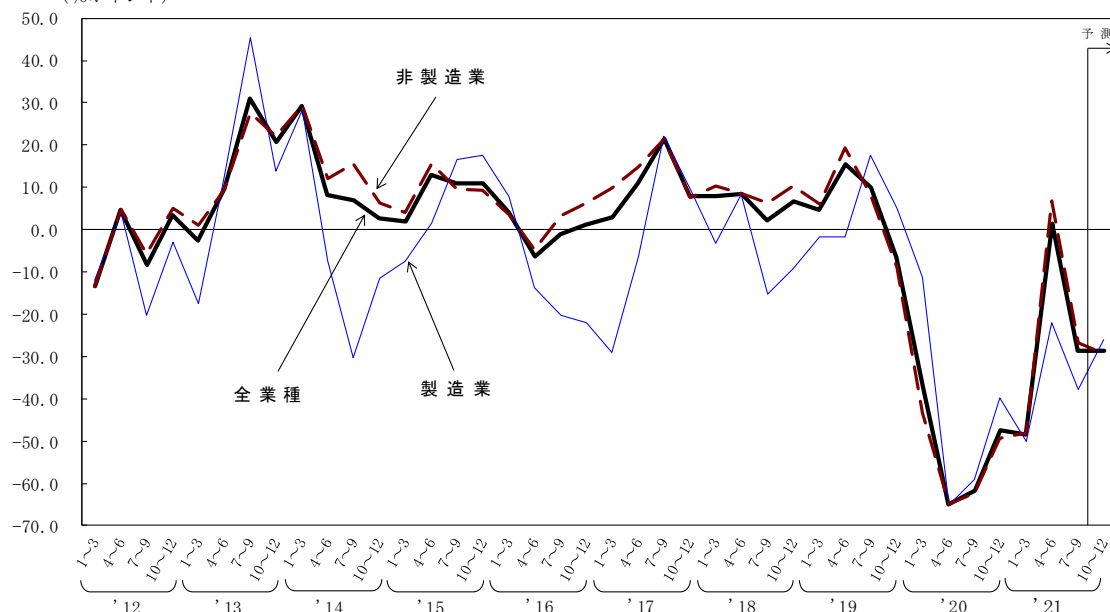
参考: 売上D.I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2020年			2021年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期 実績	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績		前回実績	今回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I. (①—②)	△ 64.9	△ 61.8	△ 47.5	△ 48.4	1.5	(△6.5)	△ 28.7	△ 28.7
	① 増加(%)	8.1	8.0	14.5	15.5	37.3	(25.1)	22.4	15.1
	不変(%)	18.9	22.3	23.6	20.5	26.9	(43.2)	26.6	41.1
	② 減少(%)	73.0	69.7	61.9	63.9	35.8	(31.7)	51.1	43.8
製造業		△ 65.1	△ 59.0	△ 39.7	△ 50.0	△ 21.9	(△6.3)	△ 37.9	△ 25.9
建設業		△ 25.0	△ 32.8	△ 30.8	△ 25.8	△ 33.8	(△24.6)	△ 31.3	△ 31.3
卸売業		△ 76.3	△ 62.2	△ 41.0	△ 38.5	△ 10.3	(△17.9)	△ 31.7	△ 19.5
小売業		△ 75.0	△ 59.5	△ 51.1	△ 42.2	11.4	(△9.1)	△ 40.5	△ 33.3
運輸業		△ 79.4	△ 82.4	△ 80.0	△ 82.4	37.1	(5.7)	△ 17.6	△ 23.5
情報通信業		△ 90.0	△ 75.0	△ 52.6	△ 22.7	11.1	(△11.1)	△ 4.8	△ 9.5
サービス業		△ 68.1	△ 66.7	△ 46.7	△ 57.8	31.0	(21.4)	△ 2.4	△ 28.6
飲食店・宿泊業		△ 91.7	△ 92.0	△ 70.8	△ 92.9	42.9	(0.0)	△ 59.3	△ 63.0

図表3-2. 売上D.I.の推移

(%ポイント)



4. 採算水準

— 当期は「赤字」超幅が拡大、来期は「赤字」超幅がやや縮小の見通し —

(1) [2021年7～9月期実績]

当期の採算水準D. I. は $\Delta 7.3$ と、「赤字」超幅が拡大となった。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「赤字」超幅が大幅に縮小、サービス業で「赤字」超幅が縮小、卸売業で「黒字」超幅がほぼ横這いとなったものの、製造業、小売業で「赤字」超幅が大幅に拡大、運輸業で「赤字」超幅が拡大、情報通信業で「黒字」超幅が大幅に縮小、建設業で「黒字」超幅がやや縮小となった。

(2) [2021年10～12月期見通し]

来期の採算水準D. I. は $\Delta 3.9$ と、「赤字」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、サービス業で「赤字」超幅がやや拡大、建設業、情報通信業で「黒字」超幅が横這いとなっているものの、卸売業で「黒字」超幅がやや拡大、製造業で「赤字」超幅が大幅に縮小、小売業、運輸業で「赤字」超幅がやや縮小、飲食店・宿泊業で「赤字」超幅が横這いの見通しとなっている。

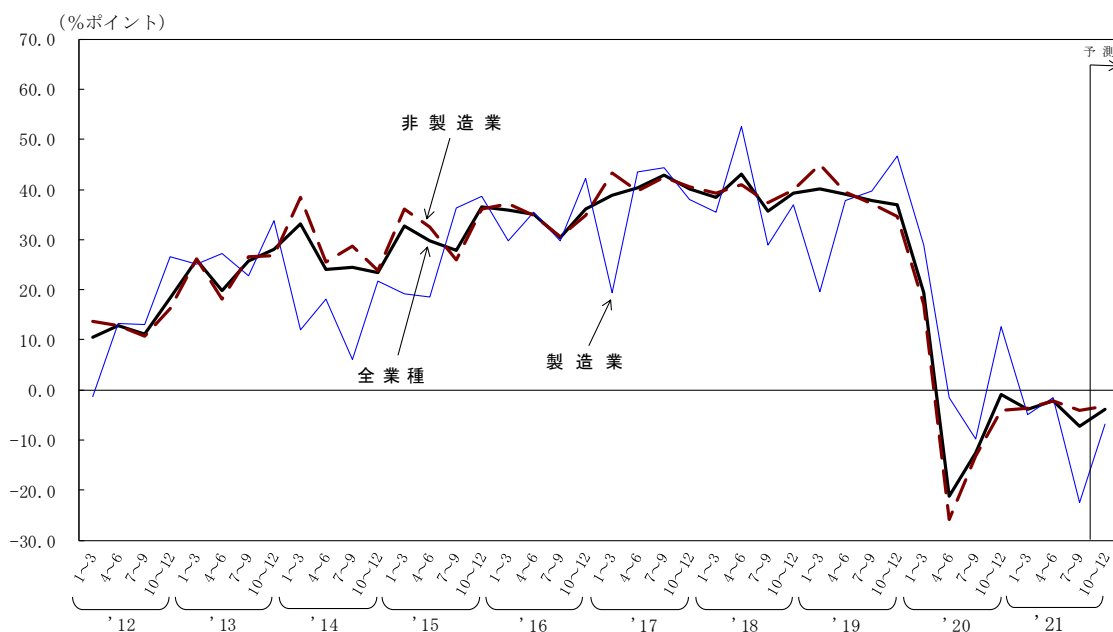
図表4-1. 採算水準D.I.

参考:採算水準D. I. (当期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2020年			2021年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	7～9月期			
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D. I. (①-②)		$\Delta 21.3$	$\Delta 12.5$	$\Delta 0.9$	$\Delta 3.8$	$\Delta 2.1$	($\Delta 1.8$)	$\Delta 7.3$	$\Delta 3.9$
	① 黒字(%)	26.1	28.4	33.6	33.4	32.0	(28.4)	27.8	26.9
	トントン(%)	26.4	30.6	31.9	29.3	34.0	(41.4)	37.2	42.3
	② 赤字(%)	47.4	41.0	34.5	37.2	34.0	(30.2)	35.0	30.8
製造業		$\Delta 1.6$	$\Delta 9.8$	12.7	$\Delta 5.0$	$\Delta 1.6$	(3.1)	$\Delta 22.4$	$\Delta 6.9$
建設業		18.8	18.0	27.7	33.3	21.5	(18.5)	17.2	17.2
卸売業		$\Delta 21.1$	8.1	17.9	15.4	20.5	(12.8)	19.5	22.0
小売業		$\Delta 25.0$	$\Delta 9.5$	4.3	6.7	$\Delta 2.3$	($\Delta 11.4$)	$\Delta 14.3$	$\Delta 11.9$
運輸業		$\Delta 44.1$	$\Delta 32.4$	$\Delta 37.1$	$\Delta 41.2$	$\Delta 14.3$	($\Delta 11.4$)	$\Delta 20.6$	$\Delta 17.6$
情報通信業		$\Delta 35.0$	$\Delta 10.0$	15.8	18.2	22.2	(16.7)	4.8	4.8
サービス業		$\Delta 44.7$	$\Delta 26.7$	$\Delta 26.7$	$\Delta 17.8$	$\Delta 9.5$	($\Delta 7.1$)	$\Delta 2.4$	$\Delta 4.8$
飲食店・宿泊業		$\Delta 91.7$	$\Delta 88.0$	$\Delta 70.8$	$\Delta 85.7$	$\Delta 85.7$	($\Delta 64.3$)	$\Delta 66.7$	$\Delta 66.7$

図表4-2. 採算水準D. I. の推移



5-1. 資金繰り

— 当期は「苦しい」超幅が拡大、来期は「苦しい」超幅がやや拡大の見通し —

(1) [2021年7～9月期実績]

当期の資金繰りD. I.は△12.7と、「苦しい」超幅が拡大した。

業種別にみると、建設業、サービス業で「楽」超から「苦しい」超に転じ、運輸業、飲食店・宿泊業で「苦しい」超幅が大幅に拡大、小売業で「苦しい」超幅が拡大、情報通信業で「苦しい」超幅がやや拡大、卸売業で「楽」超から「保合い」、製造業で「苦しい」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2021年10～12月期見通し]

来期の資金繰りD. I.は△16.6と、「苦しい」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業で「苦しい」超から「楽」超に転じる見通しとなっているものの、卸売業で「保合い」から「苦しい」超となり、運輸業で「苦しい」超幅が大幅に拡大、製造業、サービス業、飲食店・宿泊業で「苦しい」超幅が拡大、小売業、情報通信業で「苦しい」超幅が横這いの見通しとなっている。

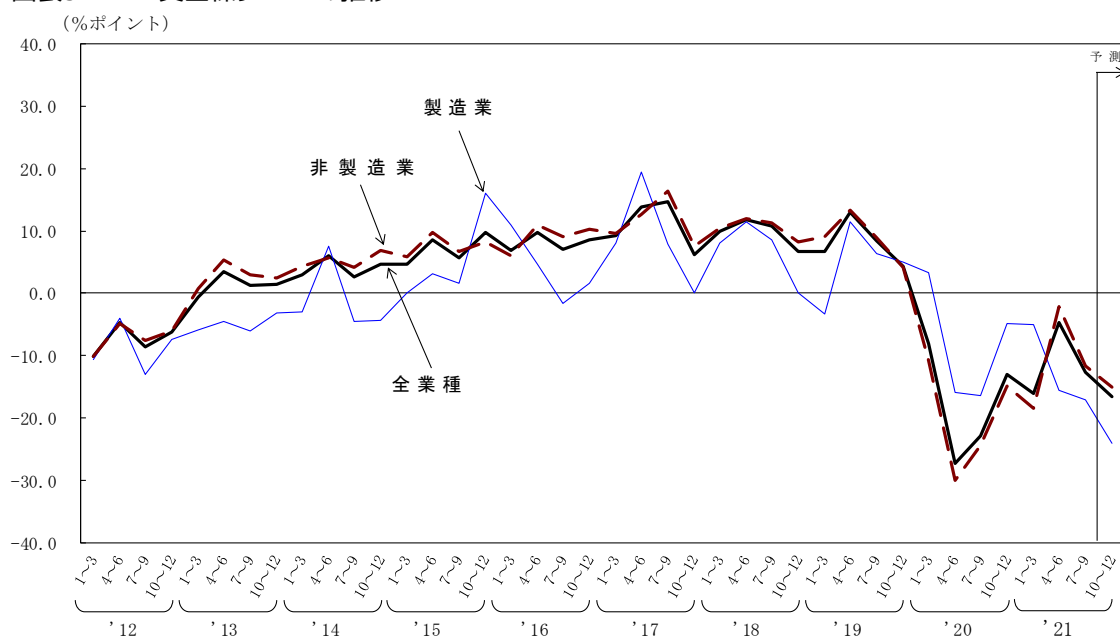
図表5-1-1. 資金繰りD.I.

参考:資金繰りD.I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2020年			2021年				
		4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 前回実績	7～9月期 前回見通し 今回実績	10～12月期 前回見通し	
全産業	D.I (①-②)	△ 27.3	△ 22.9	△ 13.0	△ 16.1	△ 4.7	(△8.9)	△ 12.7	△ 16.6
	① 楽 (%)	5.7	5.5	10.0	9.4	9.8	(7.1)	4.2	3.3
	不変 (%)	61.3	66.1	67.0	65.1	75.7	(76.9)	78.9	76.7
	② 苦しい (%)	33.0	28.4	23.0	25.5	14.5	(16.0)	16.9	19.9
製造業		△ 15.9	△ 16.4	△ 4.8	△ 5.0	△ 15.6	(△10.9)	△ 17.2	△ 24.1
建設業		△ 4.7	△ 3.3	△ 4.6	△ 1.5	1.5	(△3.1)	△ 6.3	1.6
卸売業		△ 23.7	△ 8.1	△ 2.6	△ 10.3	2.6	(△5.1)	0.0	△ 9.8
小売業		△ 37.5	△ 33.3	△ 19.1	△ 11.1	△ 9.1	(△15.9)	△ 19.0	△ 19.0
運輸業		△ 41.2	△ 35.3	△ 31.4	△ 32.4	△ 5.7	(△2.9)	△ 17.6	△ 29.4
情報通信業		△ 35.0	△ 25.0	21.1	0.0	△ 5.6	(△11.1)	△ 9.5	△ 9.5
サービス業		△ 29.8	△ 26.7	△ 22.2	△ 28.9	2.4	(△7.1)	△ 7.1	△ 16.7
飲食店・宿泊業		△ 75.0	△ 68.0	△ 45.8	△ 64.3	△ 7.1	(△21.4)	△ 33.3	△ 40.7

図表5-1-2. 資金繰りD.I.の推移



5-2. 借入難易

— 当期は「容易」超から「困難」超へ転じ、来期は「困難」超幅がやや拡大の見通し —

(1) [2021年7～9月期実績]

当期の民間金融機関からの借入難易D. I. は $\Delta 2.1$ と、「容易」超から「困難」超へ転じた。業種別にみると、情報通信業で「保合い」から「容易」超となり、建設業で「容易」超幅がほぼ横這いとなったものの、卸売業、小売業、運輸業で「容易」超から「困難」超へ転じ、飲食店・宿泊業で「困難」超幅が大幅に拡大、製造業で「困難」超幅がほぼ横這い、サービス業で「保合い」となった。

(2) [2021年10～12月期見通し]

来期の借入難易D. I. は $\Delta 6.0$ と、「困難」超幅がやや拡大の見通しとなっている。業種別にみると、建設業、情報通信業で「容易」超から「困難」超へ転じるものの、サービス業で「保合い」から「困難」超となり、運輸業で「困難」超幅が大幅に拡大、小売業、飲食店・宿泊業で「困難」超幅がやや拡大、製造業、卸売業で「困難」超幅が横這いの見通しとなっている。

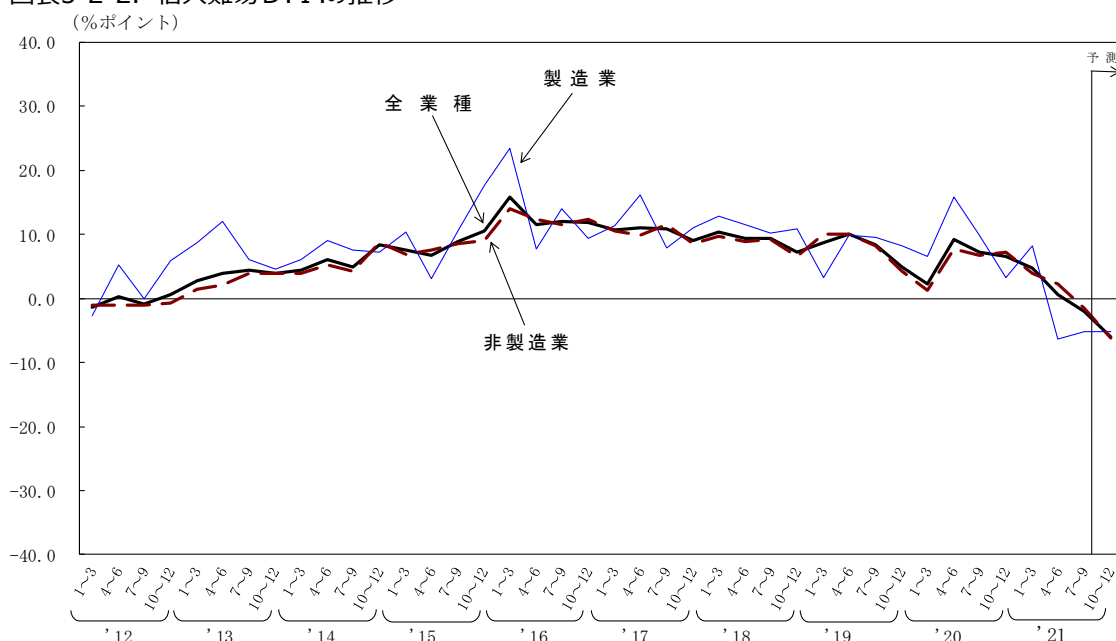
図表5-2-1. 借入難易D.I.

参考:借入難易D.I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2020年				2021年			
		4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 前回実績	7～9月期		10～12月期 今回見通し
全産業 D. I. (①-②)		9.3	7.3	6.5	4.7	0.6	($\Delta 3.8$)	$\Delta 2.1$	$\Delta 6.0$
	① 容易(%)	15.9	13.5	12.1	11.1	6.5	(4.7)	4.5	3.0
	不変(%)	77.5	80.4	82.3	82.4	87.6	(86.7)	88.8	87.9
	② 困難(%)	6.6	6.1	5.6	6.5	5.9	(8.6)	6.6	9.1
製造業		15.9	9.8	3.2	8.3	$\Delta 6.3$	($\Delta 3.1$)	$\Delta 5.2$	$\Delta 5.2$
建設業		4.7	8.2	10.8	7.6	1.5	(1.5)	1.6	$\Delta 1.6$
卸売業		10.5	16.2	10.3	17.9	2.6	(0.0)	$\Delta 2.4$	$\Delta 2.4$
小売業		17.5	0.0	12.8	8.9	4.5	($\Delta 2.3$)	$\Delta 2.4$	$\Delta 7.1$
運輸業		0.0	$\Delta 2.9$	2.9	2.9	8.6	($\Delta 2.9$)	$\Delta 2.9$	$\Delta 14.7$
情報通信業		10.0	15.0	21.1	4.5	0.0	(0.0)	9.5	$\Delta 4.8$
サービス業		17.0	4.4	$\Delta 2.2$	$\Delta 6.7$	0.0	($\Delta 9.5$)	0.0	$\Delta 2.4$
飲食店・宿泊業		$\Delta 12.5$	12.0	$\Delta 4.2$	$\Delta 14.3$	$\Delta 3.6$	($\Delta 21.4$)	$\Delta 14.8$	$\Delta 18.5$

図表5-2-2. 借入難易D. I. の推移



Ⅲ. 参考

参考 1. 販売数量（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「減少」超幅が大幅に拡大、来期は「減少」超幅が縮小の見通し —

(1)〔2021年7～9月期実績〕

当期の販売数量D. I. は△42.6と「減少」超幅が大幅に拡大となった。
業種別にみると、小売業で「増加」超から「減少」超へ転じ、製造業、卸売業で「減少」超幅が大幅に拡大となった。

(2)〔2021年10～12月期見通し〕

来期の販売数量D. I. は△32.6と、「減少」超幅が縮小の見通しとなっている。
業種別にみると、製造業で「減少」超幅が大幅に縮小、卸売業、小売業で「減少」超幅が縮小の見通しとなっている。

表1. 販売数量D.I.

参考:販売数量D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2020年			2021年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	△ 57.4	△ 61.4	△ 49.0	△ 45.8	△ 10.2	(△12.2)	△ 42.6	△ 32.6
	① 増加(%)	12.8	8.6	12.1	14.6	30.6	(20.4)	15.6	12.1
	不変(%)	17.0	21.4	26.8	25.0	28.6	(46.9)	26.2	43.3
	② 減少(%)	70.2	70.0	61.1	60.4	40.8	(32.7)	58.2	44.7
	製造業	△ 46.0	△ 63.9	△ 54.0	△ 53.3	△ 25.0	(△15.6)	△ 44.8	△ 31.0
	卸売業	△ 57.9	△ 59.5	△ 43.6	△ 38.5	△ 12.8	(△20.5)	△ 36.6	△ 29.3
	小売業	△ 75.0	△ 59.5	△ 46.8	△ 42.2	13.6	(0.0)	△ 45.2	△ 38.1

参考 2. 販売価格（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「上昇」超幅がやや縮小、来期は「上昇」超幅がやや拡大の見通し —

(1)〔2021年7～9月期実績〕

当期の販売価格D. I. は10.6と、「上昇」超幅がやや縮小となった。
業種別にみると、製造業で「上昇」超幅が大幅に縮小、卸売業、小売業で「上昇」超幅がほぼ横這いとなった。

(2)〔2021年10～12月期見通し〕

来期の販売価格D. I. は13.5と、「上昇」超幅がやや拡大の見通しとなっている。
業種別にみると、卸売業で「上昇」超幅がやや縮小となるものの、製造業で「上昇」超幅が拡大、小売業で「上昇」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

表2. 販売価格D.I.

参考:販売価格D. I. (前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2020年			2021年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	△ 7.1	△ 7.1	4.7	4.9	15.6	(16.3)	10.6	13.5
	① 上昇(%)	14.9	13.6	14.1	16.0	24.5	(24.5)	19.9	22.7
	不変(%)	63.1	65.7	76.5	72.9	66.7	(67.3)	70.9	68.1
	② 下降(%)	22.0	20.7	9.4	11.1	8.8	(8.2)	9.2	9.2
	製造業	△ 1.6	△ 6.6	6.3	6.7	18.8	(23.4)	8.6	15.5
	卸売業	2.6	△ 2.7	12.8	5.1	20.5	(23.1)	19.5	14.6
	小売業	△ 25.0	△ 11.9	△ 4.3	2.2	6.8	(0.0)	4.8	9.5

参考3. 在庫水準（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 「過剰」超幅がほぼ横這い—

〔2021年9月期末〕

在庫水準D. I. は△13.5と、前期末と比べて「過剰」超幅がほぼ横這いとなった。
業種別にみると、製造業で「過剰」超幅がやや拡大となったものの、卸売業で「過剰」超幅が大幅に縮小、小売業で「過剰」超幅がほぼ横這いとなった。

表3. 在庫水準D.I.

参考：在庫水準D. I.（当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：%ポイント）

業種	区分	2020年			2021年		
		6月期末	9月期末	12月期末	3月期末	6月期末	9月期末
全産業	D. I. (①-②)	△ 22.7	△ 22.1	△ 18.1	△ 16.7	△ 14.3	△ 13.5
	① 不足 (%)	5.7	2.9	2.0	1.4	2.7	2.8
	適正 (%)	66.0	72.1	77.9	80.6	80.3	80.9
	② 過剰 (%)	28.4	25.0	20.1	18.1	17.0	16.3
	製造業	△ 17.5	△ 21.3	△ 14.3	△ 16.7	△ 12.5	△ 17.2
	卸売業	△ 21.1	△ 21.6	△ 20.5	△ 15.4	△ 17.9	△ 7.3
	小売業	△ 32.5	△ 23.8	△ 21.3	△ 17.8	△ 13.6	△ 14.3

参考4. 雇用判断

－ 当期は「不足」超幅がやや拡大、来期は「不足」超幅がほぼ横這い －

(1) [2021年7～9月期実績]

当期の雇用判断D. I. は19.0と、「不足」超幅がやや拡大となった。

業種別にみると、製造業で「不足」超幅が大幅に縮小となったものの、建設業、情報通信業で「不足」超幅が大幅に拡大、卸売業、サービス業で「不足」超幅が拡大、運輸業で「不足」超幅がやや拡大、飲食店・宿泊業で「過剰」超から「保合い」、小売業で「不足」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2021年10～12月期見通し]

来期の雇用判断D. I. は19.9と、「不足」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

業種別にみると、小売業、サービス業で「不足」超幅がやや縮小となるものの、運輸業で「不足」超幅が拡大、建設業、卸売業で「不足」超幅がやや拡大、情報通信業で「不足」超幅が横這い、製造業で「不足」超幅がほぼ横這い、飲食店・宿泊業で「保合い」の見通しとなっている。

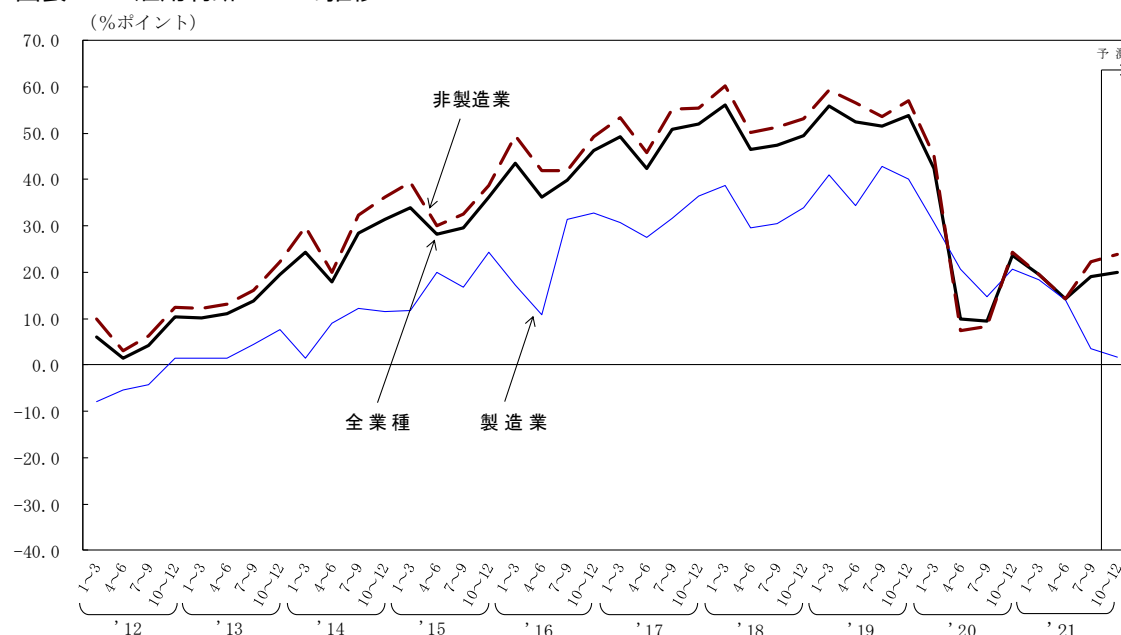
図表4-1. 雇用判断D.I.

参考:雇用判断D. I. (当該期、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2020年			2021年				
		4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 前回実績	7～9月期 前回見通し 今回実績	10～12月期 前回見通し	
全産業	D. I. (①-②)	9.9	9.5	23.6	19.4	14.2	(17.5)	19.0	19.9
	① 不足(%)	27.0	26.6	33.3	30.2	26.0	(25.7)	29.0	29.6
	適正(%)	55.9	56.3	56.9	58.9	62.1	(66.0)	61.0	60.7
	② 過剰(%)	17.1	17.1	9.7	10.9	11.8	(8.3)	10.0	9.7
製造業		20.6	14.8	20.6	18.3	14.1	(10.9)	3.4	1.7
建設業		37.5	39.3	49.2	45.5	33.8	(40.0)	43.8	46.9
卸売業		△ 5.3	5.4	20.5	7.7	10.3	(10.3)	17.1	19.5
小売業		10.0	9.5	23.4	22.2	11.4	(6.8)	11.9	9.5
運輸業		△ 2.9	△ 2.9	20.0	23.5	8.6	(5.7)	11.8	20.6
情報通信業		0.0	0.0	0.0	4.5	11.1	(16.7)	33.3	33.3
サービス業		10.6	8.9	17.8	17.8	14.3	(26.2)	23.8	21.4
飲食店・宿泊業		△ 45.8	△ 48.0	0.0	△ 17.9	△ 10.7	(10.7)	0.0	0.0

図表4-2. 雇用判断D. I. の推移



参考 5. 経営上の問題点

— 7期連続で「売上の不振」が最多となる —

[2021年7～9月期実績]

当面の経営上の問題点としては、7期連続で「売上の不振」(図表5-1の表頭①26.8%)の割合が最も高く、続いて「利益の減少」(同③21.1%)、「求人難」(同⑩11.5%)の順となった。

業種別にみると、すべての業種で「売上の不振」の割合が最も高く、製造業、建設業、卸売業では「原材料高」の割合も高くなった。

図表5-1. 経営上の問題点(複数回答)

(単位：%)

区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
業種	売上の不振	製品安等	利益の減少	原材料高	人件費の増加	人件費以外経費の増加	代金回収難	借入難	余剰人員	求人難	設備・店舗の狭小等	事業承継	その他
全産業	26.8	1.2	21.1	10.8	7.6	4.7	0.9	1.1	1.2	11.5	9.4	1.6	2.1
製造業	25.0	1.3	22.4	17.3	3.2	7.1	0.0	1.3	1.9	5.8	14.1	0.6	0.0
建設業	22.1	0.6	16.0	16.0	10.4	3.1	1.2	1.2	0.0	20.2	4.9	3.1	1.2
卸売業	29.2	4.2	20.8	12.5	7.3	2.1	1.0	1.0	1.0	12.5	7.3	1.0	0.0
小売業	28.6	0.0	22.4	8.2	5.1	4.1	1.0	1.0	1.0	10.2	12.2	1.0	5.1
運輸業	30.4	0.0	21.5	8.9	3.8	7.6	0.0	0.0	2.5	8.9	12.7	1.3	2.5
情報通信業	30.6	0.0	28.6	4.1	8.2	2.0	4.1	0.0	0.0	12.2	4.1	2.0	4.1
サービス業	23.3	2.9	17.5	2.9	14.6	7.8	1.0	1.0	1.9	14.6	8.7	1.0	2.9
飲食店・宿泊業	35.7	0.0	28.6	4.3	7.1	1.4	0.0	2.9	1.4	2.9	10.0	1.4	4.3

図表5-2. 経営上の問題点(複数回答)

